2022 年度　　授業概要

科目名	日常生活活動学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8 回	時間数	15 時間　1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年　後期

【授業の目的・ねらい】
ADLの概念、構成、について学び、ADLの重要性を理解する。
ADLの代表的な評価法について学び、概要を理解する。

【実務者経験】
県立病院で20年勤め、その他一般病院、デイサービス、訪問リハビリなどでも勤務。身体障害領域の急性期から維持期まで幅広いリハビリテーションに従事している。

【授業全体の内容の概要】
ADLの概念、構成について学ぶ
ADLの評価法について学ぶ

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
ADLの概念、構成を説明することができる。
ADLの基本的な評価法を説明することができる。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	ADL概論（ADL/APDL/IADL概要と構成）	
2	個々のADL（BADL)の概要と方法を学ぶ	
3	ADLの評価の目的と代表的な評価法の概要と方法を学ぶ	
4	ADLの代表的な評価法の概要と方法を学ぶ	
5	ADLの代表的な評価法の概要と方法を学ぶ	
6	事例を通して代表的な評価方法を学ぶ	
7	事例を通して代表的な評価方法を学ぶ	
8	まとめ	
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】
PT・OTﾋﾞｼﾞｭｱﾙﾃｷｽﾄADL　柴喜崇・下田信明編　羊土社
実践ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｼﾘｰｽﾞ　脳卒中の機能評価－SIASとFIM(基礎編)　千野直一・椿原彰夫他著　金原出版

【準備学習・時間外学習】
学んだ内容を定着させるため、復習を毎回行う。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】
試験の結果を100点満点として成績を評価する。
試験は定期筆記試験を100点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。